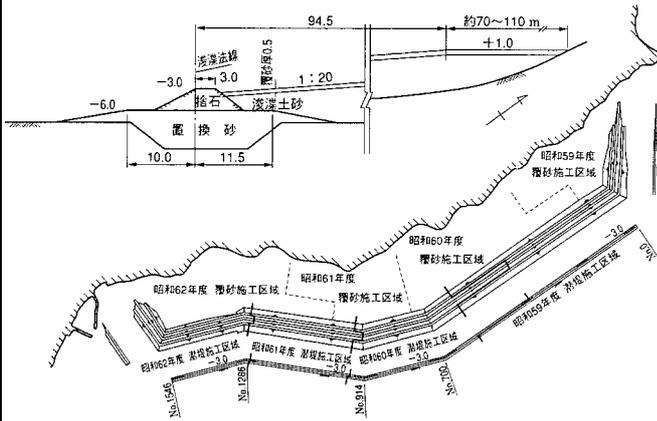
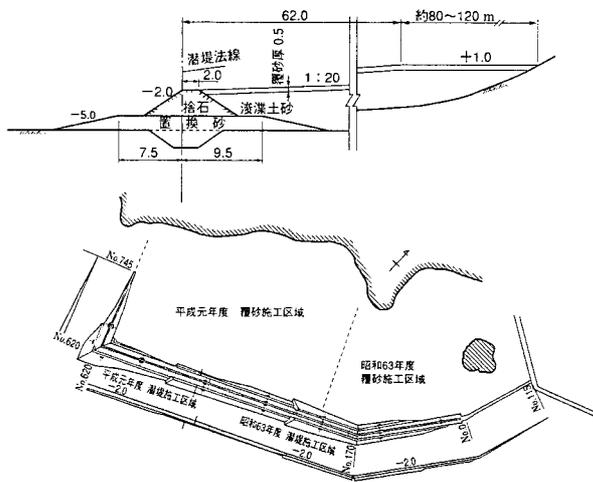


事例 NO.15		
事業の種類	港湾・漁港・海岸	
環境配慮の概要	干潟，藻場の整備	
事業名	直轄港湾改修事業	
事業主体	国土交通省中国地方整備局（第三港湾建設局）	
実施場所	広島県尾道市百島町泊地先（百島地区） 広島県尾道市浦崎町海老地先（海老地区） 広島県尾道市浦崎町灘地先（灘地区）	
実施期間	昭和59年度～昭和62年度 昭和63年度～平成元年度 平成7年度～平成8年度	
事業概要	全体事業費	約200百万円
	施工区間等	施工面積 約36ha 約16ha 約4ha
	事業の目的・経緯等	浚渫土を用いた干潟，藻場の創出事業
環境配慮の内容	<p>調査等</p> <ul style="list-style-type: none"> 干潟造成後に水質・底質の状況，生態系の回復状況についてモニタリング調査を実施し，環境の監視を行っている。 <p>工法等</p> <ul style="list-style-type: none"> 覆砂材の決定については底生生物の生息場，浚渫土砂の流出防止，現地底質の粒度試験結果及び覆砂材供給元の粒度等を充分配慮して覆砂材の中央粒径 $d_{50} = 1.0 \text{ mm}$ 程度とした。 	
施工後の状況	<p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> アマモ場の増加（百島地区：1.3ha 6.7ha，海老地区：1.3ha 1.4ha） マクロベントス，メガロベントス，貴重種等の生物生息等の状況から，自然干潟にほぼ準じた底生生物の多様性を確認（百島地区，海老地区） マクロベントス，メガロベントス，貴重種等の生物生息等の状況は整備前に比べて種類数，個体数ともに増加（灘地区） 	
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> 干潟，藻場整備中から整備終了後も含めて，現在まで継続的にモニタリングを実施し，より良好な干潟を整備するための知見を収集している。 	

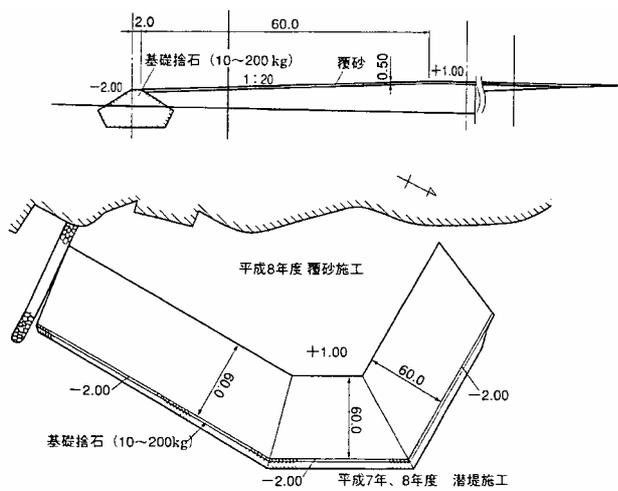
(図面 , 写真 , 説明)



【 百島地区 】



【 海老地区 】



【 灘地区 】